

# 堺市超高齢社会に対応するための地域包括ケア システムの推進に関する条例の制定について

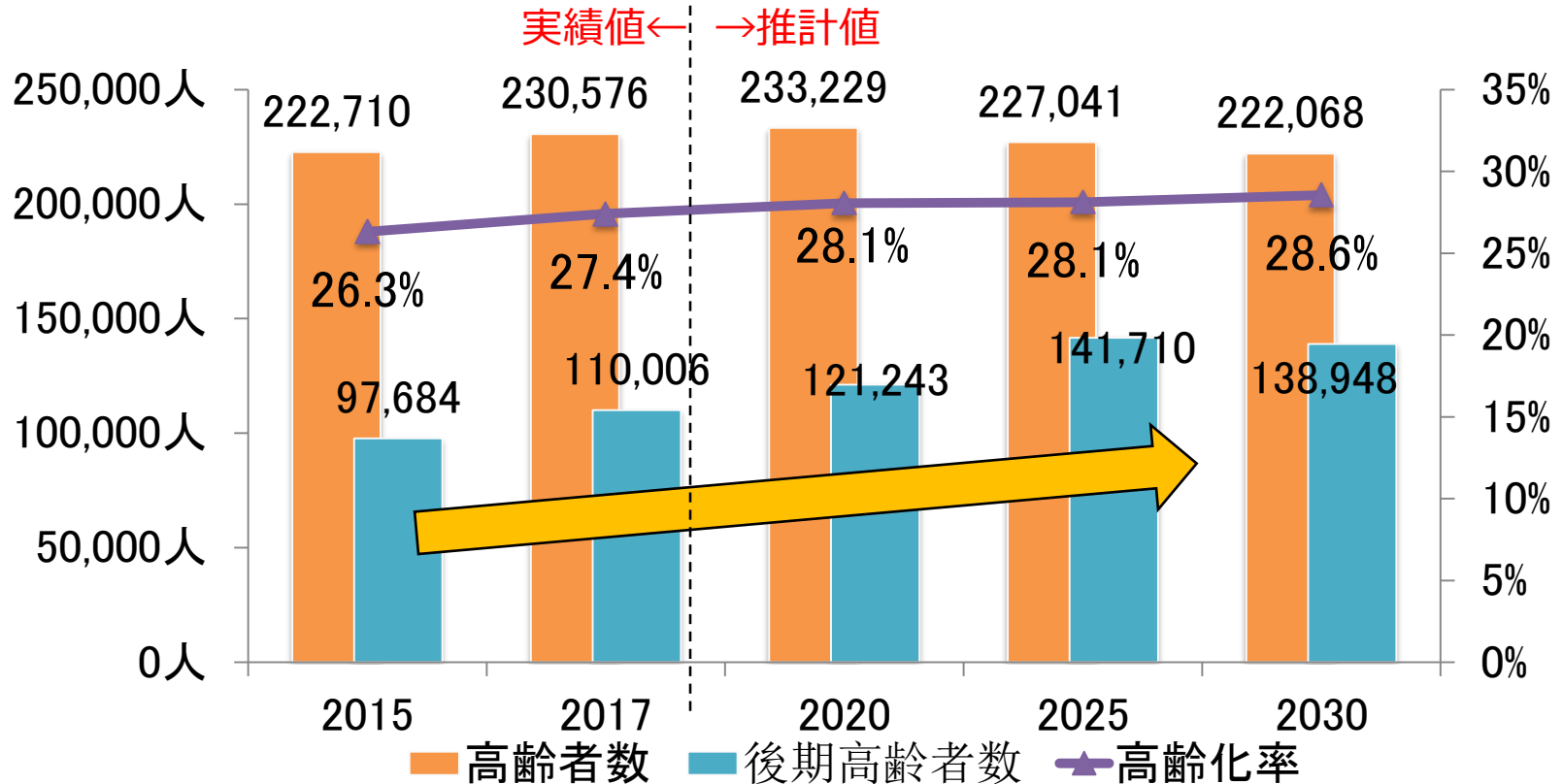
堺市健康福祉局長寿社会部地域包括ケア推進課

## 堺市 高齢者福祉関係数値(平成31年3月末現在)

総人口	83万6,166人
65歳以上の高齢者人口	23万3,189人
高齢化率	27.9%
75歳以上の高齢者人口	11万7,740人
75歳以上のひとり暮らし人口	4万2,999人
75歳以上の高齢者のみの世帯数	6万1,312世帯
100歳以上の人口	362人 (男性31人 女性331人)

# 堺市 高齢者数の推移(2018~2030年)

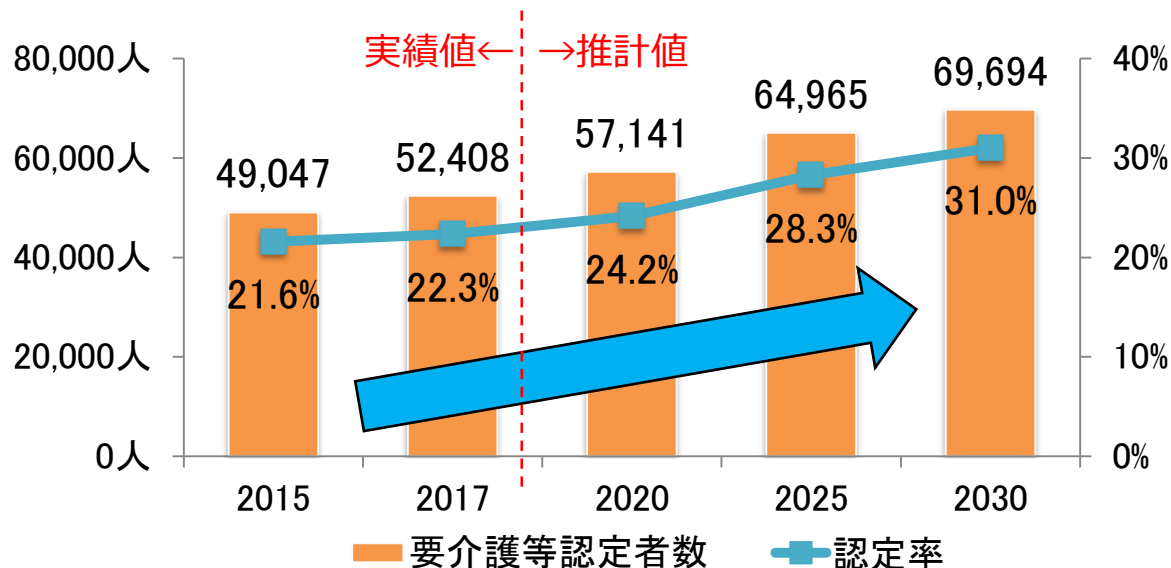
堺市の高齢者数は、2017年9月末時点で23万人を超え、高齢化率は27.4%で上昇を続けています。



今後も高齢化は更に進み、  
特に、75歳以上の後期高齢者が増加

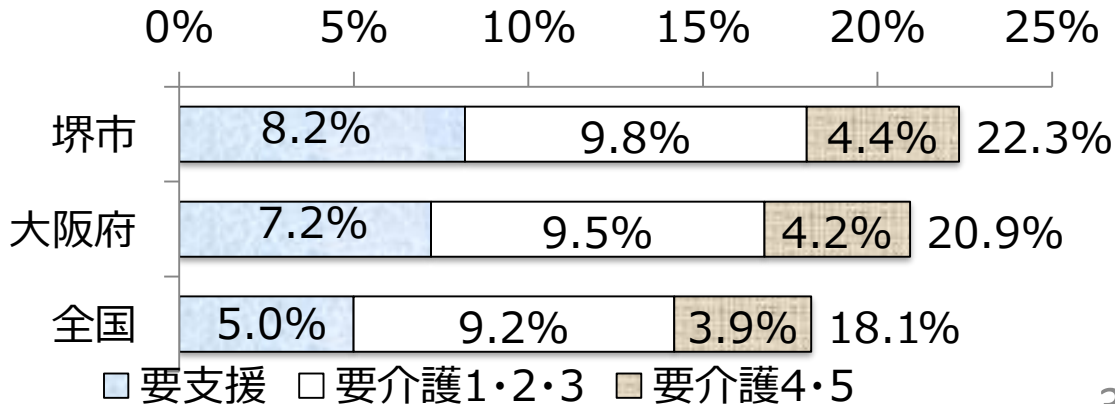
# 堺市 要介護等認定者数など推移(2018~2030年)

要介護等認定者数は、2017年9月末時点で約5万2千人、認定率（高齢者人口に占める割合）は22.3%となっています。



要介護等認定者数は今後も増加し、全国平均よりも多い水準で推移する見込

本市の認定率は、全国、大阪府よりも高く、特に要支援の認定率において差が大きくなっています。(2017年9月末)

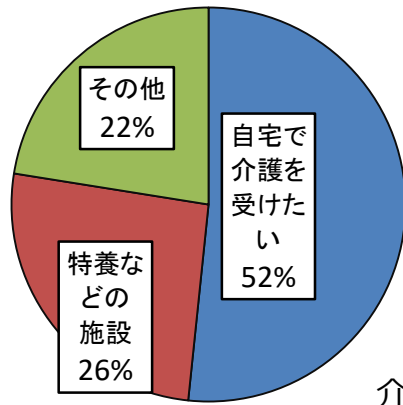
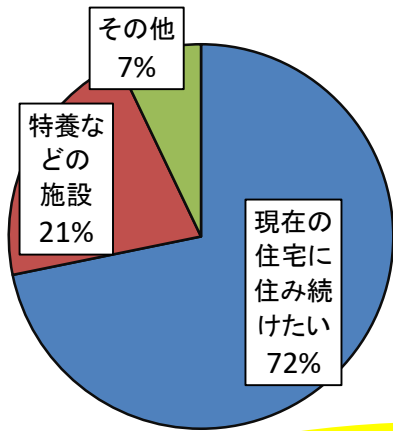


# 堺市高齢者の意識

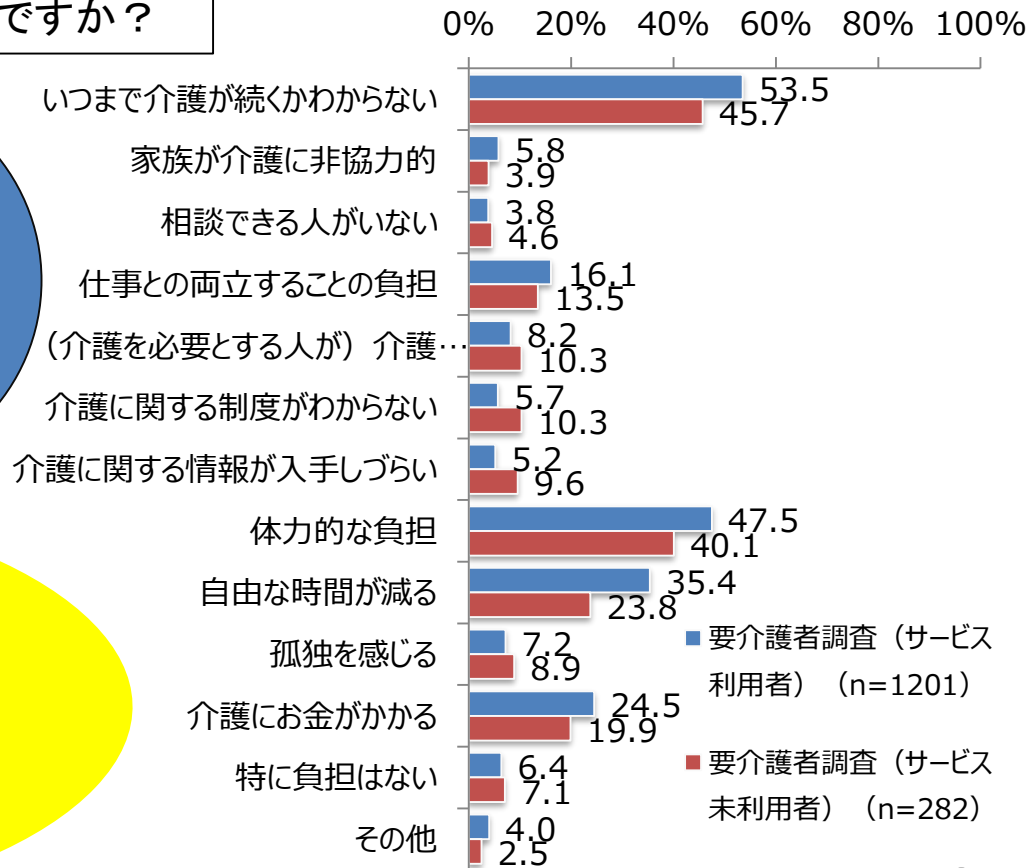
「平成28年度高齢者等実態調査」によれば、現在の住まいで住み続けることを希望する方が多く、7割を超えています。また、介護が必要になった場合でも、自宅で介護を受けたいという方が半数以上となっています。介護者について、介護の負担を感じている人が多くなっています。

将来どのような住まいで暮らしたいですか？

介護が必要になったら、どこで介護を受けたいですか？

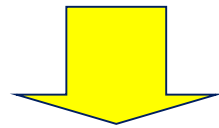


在宅ケアの充実、現在の住まいで住み続けられること、介護者へのレスパイトなどが求められている



# 高齢者を取りまく現状

- 高齢者の増加 働く世代の減少
- 認知症など介護の必要な人の増加
- ひとり住まいや高齢者のみ世帯の増加
- 認知症高齢者の増加
- 地域や近所のつながりの希薄化



医療や介護サービスのニーズの  
複雑化・多様化

全国初

# 堺市超高齢社会に対応するための 地域包括ケアシステムの推進に関する条例



## ＜基本理念＞

- ・高齢者の尊厳の保持及び自立支援を基本とする。
- ・地域の自主性及び主体性に基づき、地域の特性に応じて  
つくり上げていくべきもの
- ・市、医療介護等関係者及び市民等が、各役割を理解し、  
協働・構築等していくべきもの
- ・自助、互助、共助及び公助の考え方に基づき、適切な  
役割分担の下に行うべきもの
- ・個々の状態に応じて、それぞれが役割を持ち、相互に  
支え合うべきもの

# 堺市超高齢社会に対応するための 地域包括ケアシステムの推進に関する条例



## 市民等の役割

市民等は、いつまでも自分らしく暮らし続けることができるよう、  
介護予防及び健康の保持増進に努めるものとする

## 医療介護等関係者の役割

医療介護等関係者は、その属する医療機関、事業所等において  
地域包括ケアシステムの推進に向けた同一の目標を共有し、  
積極的に地域づくりに貢献するよう努める

## 市の責務

市は、地域包括ケアシステム推進施策に係る総合的な計画を策定し、  
効果的に実施すること、関係機関と連携協働すること、  
地域づくりを促進するための支援を行う

# 地域包括ケアシステムの推進に関する施策に係る総合的な計画

---

- 地域包括ケアシステム推進条例 第4条に規定
- 付帯決議においても、目標の明確化と市民にわかりやすく説明するよう明記
- 計画期間を単年度とし、PDCAサイクルの手法に基づき着実に進捗管理